

日本川崎病学会会長 高橋 啓先生侍史

「川崎病急性期カード」に関する要望書

日頃は川崎病に関するあらゆる面で主導的な活動をしていただき厚くお礼申し上げます。若年者心疾患・生活習慣病協議会（会長：北村惣一郎）における川崎病対策委員会（委員長：篠原 徹）からお願いがありお手紙を差し上げる次第です。

これまで本委員会は学校現場で川崎病急性期カードを普及するべくささやかな取り組みを行ってきました。これまでの活動を踏まえ次ぎの3点を要望します。ご検討ください。

①「川崎病急性期カード」のさらなる普及のために学会として眼に見えるかたちの取り組みをお願いします。

以前に比べ普及率は向上している印象をもちますが、検診現場での経験ではまだまだの感をぬぐえません。管理指導表に関しては管理不要児も含め検診後には多くの児が提出する形になっています。川崎病急性期カードはそこまでの重要性が認識されていない印象を持ちます。

主治医である限り退院時に保護者・患児にカードを手渡すことが義務であるとの指導を各医療機関の責任者に自覚していただき、手渡すことを徹底していただけないでしょうか。

2013年度版のガイドラインは急性期カードの重要性が記載されています。急性期カードを所持させることは罹病児管理の原点です。

②急性期カードの一部改訂をお願いします。

2013年度版ガイドラインの記載どおり、管理不要とした時期をカードに記載することは重要であると考えます。是非その欄を設けていただけないでしょうか。欄を設けることで主治医も患児・保護者も急性カードが別の観点からも重要であることが認識できると考えます。このことは学校検診現場で検診をする医師にとって大変有難いことです。

③貴学会が編集した「川崎病学」に急性期カードに関する記載をお願いします。

平成30年11月に貴学会の編集による「川崎病学」が上梓されました。本書は川崎病に関する最新の教科書と言っても過言ではないと考えますが、残念なことに急性期カードに関する記載が全くありません。次回の改訂時には是非急性期カードに関する記載を入れていただきたいと思います。

平成31年3月 若年者心疾患・生活習慣病協議会

学術委員長

長嶋正實

川崎病対策委員会委員長

篠原 徹

日本川崎病学会会長：高橋 啓 先生
(東邦大学医療センター大橋病院病理診断科)

「川崎病急性期カード」に関する要望書

日頃は川崎病に関するあらゆる面で主導的な活動をしていただき厚くお礼申し上げます。

これまで若年者心疾患・生活習慣病対策協議会（会長：北村惣一郎国立循環器病センター名誉総長）の学術委員会川崎病対策委員会は学校現場で川崎病急性期カードを普及するための取り組みを行ってきました。

この間、故・荻野廣太郎先生とともに、第31回日本川崎病学会（会長：上村茂先生）の講演をまとめた「川崎病の基本」では「急性期カードとその活用法」と題する文章も書かせていただきました。このような背景のもと、次の2点について日本川崎病学会として取り組んでいただくことを要望いたします。

① 「川崎病急性期カード」のさらなる普及のために学会として眼に見えるかたちの取り組みを要望します。

以前に比べ普及率は向上している印象をもちますが、学校健診現場での経験ではまだまだ低いように思われます。学校生活管理指導表に関しては管理不要児も含め検診後には多くの児が提出していますが、川崎病急性期カードの重要性が十分認識されていないようです。「主治医である限り、退院時に保護者・患児にカードを手渡すことが義務である」と各医療機関の責任者に自覚していただき、手渡すことを徹底するようご指導していただきたいと考えます。

2013年度版のガイドラインは急性期カードの重要性が記載されています。急性期カードを所持させることは罹病児管理の原点です。

② 急性期カードの一部改訂をお願いします。

2013年度版ガイドラインの記載どおり、管理不要とした時期をカードに記載することは重要であると考えます。是非その欄を設けていただきたいと考えます。欄を設けることで主治医も患児・保護者も急性期カードが別の観点からも重要であることが認識できると考えます。このことは学校現場で健診をする医師にとって大変有難いことです。

平成29年1月28日

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会副会長 学術委員長 長嶋正實
若年者心疾患・生活習慣病対策協議会 川崎病対策委員会委員長 篠原 徹